







鎌倉市環境基本計画目標達成状況

環境基本計画の目標	目標を達成するための指標	目標の達成状況
①地球環境 将来の世代も安全で快適に暮らせるよう、国際的視野を持って地球環境の保全をすすめます。	<ul style="list-style-type: none"> ▶市域における温室効果ガス排出量 平成27年度(2015年度)までに平成2年度(1990年度)に比べ、16.1%削減 	基準年度対比77,643t-CO ₂ 増加(約16.2%増加)
②大気 誰もが深呼吸を楽しめるまちにします。	<ul style="list-style-type: none"> ▶二酸化窒素などの大気汚染物質の環境基準達成 ※かまぐら環境(平成23年度鎌倉市環境調査データ集)第3章I大気参照 	二酸化窒素などの大気汚染物質は概ね環境基準を達成 光化学オキシダントは環境基準に不適合
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ベンゼンなどの有害大気汚染物質の環境基準達成 ※かまぐら環境(平成23年度鎌倉市環境調査データ集)第3章III化学物質参照 	ベンゼンなどの有害大気汚染物質は、環境基準を達成 
	<ul style="list-style-type: none"> ▶大気中のダイオキシン類の環境基準の達成 ※かまぐら環境(平成23年度鎌倉市環境調査データ集)第3章III化学物質参照 	大気中のダイオキシン類は、環境基準を達成 
③水・土 人や水辺の生物が住みやすい良好な水質と土壌を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ▶河川水質の環境基準の達成 ※かまぐら環境(平成23年度鎌倉市環境調査データ集)第3章II水質参照 	環境基準の設定されている市内の河川すべてにおいて環境基準を達成 
	<ul style="list-style-type: none"> ▶海域水質の環境基準の達成 ※かまぐら環境(平成23年度鎌倉市環境調査データ集)第3章II水質参照 	海域水質は、環境基準を達成 
	<ul style="list-style-type: none"> ▶地下水質の環境基準の達成 (ダイオキシン類:環境基準1(pg-TEQ/リットル)) 	地下水質は環境基準を達成 
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ダイオキシン類(水質、底質、土壌)の環境基準の達成 ※かまぐら環境(平成23年度鎌倉市環境調査データ集)第3章III化学物質参照 	ダイオキシン類(水質、底質、土壌)は、環境基準を達成 
	<ul style="list-style-type: none"> ▶市街化調整区域の下水道整備率を平成27年度(2015年度)までに下水道法事業認可済の市街化調整区域で75% 	下水道法事業認可済みの市街化調整区域で下水道整備率は、2.59ha、4.7%
	<ul style="list-style-type: none"> ▶河川の水生生物を水質階級Ⅱ以上 	河川の水生生物を行った二又川(神戸川)において水質階級Ⅱ 

環境基本計画の目標	目標を達成するための指標	目標の達成状況
④化学物質 化学物質を適正に管理し、安全に使用します。	▶揮発性有機化合物(VOC)の排出量の削減	平成23年度(報告内容は平成22年度実績)の「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づく事業所からの届出排出量は、14,465(Kg/年)で 前年度に比べ14,911(Kg/年)減少 、また届出移動量は、111,060(Kg/年)で 前年度に比べ3,390(Kg/年)増加
	▶有害な化学物質(大気・水質・土壌)の環境基準の達成(再掲) ※かまぐらの環境(平成23年度鎌倉市環境調査データ集)第3章Ⅲ化学物質参照	ベンゼンなどの有害な化学物質は、 環境基準(大気・水質・土壌)を達成 
	▶ダイオキシン類(大気・水質・土壌・底質)の環境基準の達成(再掲) ※かまぐらの環境(平成23年度鎌倉市環境調査データ集)第3章Ⅲ化学物質参照	ダイオキシン類は、 環境基準(大気・水質・土壌・底質)を達成 
⑤音 自然が醸し出す音を楽しめるまちにします。	▶環境騒音の環境基準の達成	環境騒音は環境基準の 適合率は100% (昼間) 
	▶自動車騒音の要請限度の達成	自動車騒音(道路交通騒音)の 要請限度適合率は、83% (昼間)
⑥歴史的遺産 古都鎌倉の歴史的遺産を保全・活用し、世界遺産に登録されることをめざします。	▶世界遺産への登録として早期登録の実現	世界遺産委員会等における動向を勘案しながら、 世界遺産登録に向けた準備を進めている。
	▶史跡の公有地化を平成27年度(2015年度)までに236,798.93㎡	史跡の公有地化取得面積は、 198,379.17㎡ 取得率は83.78%
⑦緑・水辺 公園や緑地、市街地の樹木などの緑や水辺地を保全・整備・創造・管理し、うるおいとやすらぎのあるまちをつくります。	▶都市公園等の施設緑地の面積を平成27年度(2015年度)に188ha	都市公園等の施設緑地の面積は、99.77ha、 53.1%
	▶一人当たりの都市公園等の施設緑地面積を平成27年度(2015年度)に約12㎡	一人当たりの都市公園等の施設緑地面積は、5.73㎡ 47.8%

環境基本計画の目標	目標を達成するための指標	目標の達成状況
⑧景観 豊かな自然環境に恵まれた都市環境を継承・発展させ、魅力的な都市景観へと高めます。	▶景観形成の詳細なルールを定めている地区の指定を平成27年度(2015年度)までに4地区	景観形成の詳細なルールを定めている地区は 4地区指定 
	▶市民・NPOによる景観形成組織の育成を平成27年度(2015年度)までに2組織	市民・NPOによる景観形成組織の育成は、 市民活動の支援を行いながら検討
	▶違反屋外広告物の除却 屋外広告物法に基づく未申請物件数をゼロ	違反屋外広告物の除却件数 1,122件
	▶風致地区の指定拡大	風致地区は、2,194haが指定されており更なる 拡大に向けて検討
⑨美化 住む人と訪れる人との協力で、散乱ごみと落書きのないまちをめざします。	▶飲料用自動販売機回収容器設置率を平成27年度(2015年度)に95%以上	飲料用自動販売機回収容器設置率 93%
	▶自治町内会のまち美化クリーンデー実施率を平成27年度(2015年度)までに100%	自治町内会のまち美化クリーンデー実施率 62%
	▶まち美化推進重点区域を平成27年度(2015年度)までに6区域	まち美化推進重点区域 4区域
	▶アダプト・プログラムの実施地区を平成27年度(2015年度)までに5地区	アダプト・プログラムの実施地区 9地区 
⑩生態系の保全 さまざまな生物とともに生きられるよう、貴重種をはじめ市内に生息・生育する野生動物の保全に努めます。	▶野生動植物の生態調査・研究の推進	鎌倉市自然環境調査により、民有緑地における生息動植物の生息環境等を把握
	▶生態系の保全体制の整備	市民団体と協働して生態系の保全体制の整備に努めている。
⑪自然とのふれあい 海、山、川、池などで自然にふれあい、自然から学び癒される機会を増やします。	▶都市公園等の施設緑地の面積を平成27年度(2015年度)に183ha(再掲)	都市公園等の施設緑地の面積は99.77ha、 53.1%
	▶一人当りの都市公園等の施設緑地面積を平成27年度(2015年度)に12㎡(再掲)	一人当りの都市公園等の施設緑地の面積は、5.73㎡ 47.8%
	▶生き物観察広場の数(小・中学校)を平成27年度(2015年度)に10箇所追加	生き物観察広場の数(小・中学校)は 7箇所

環境基本計画の目標	目標を達成するための指標	目標の達成状況
⑫廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用 生産や消費に伴う廃棄物の発生を抑制し、再使用・再生利用等により資源を有効利用します。	▶一般廃棄物焼却量(家庭・事業所)を平成27年度(2015年度)までに平成15年度(2003年度)に比べ30%削減	平成15年度に比べ 9.1%削減
	▶ごみ・資源物の総排出量を平成27年度(2015年度)までに平成15年度(2003年度)に比べ5%削減維持	平成15年度に比べ 4.0%削減
⑬水の循環利用 上水の節水のため一度利用した水や雨水の有効利用に取り組むとともに、雨水の地下浸透をすすめます。	▶上水使用量(m ³ /人・年)を平成27年度(2015年度)に平成16年度(2004年度)に比べ5%削減	平成16年度に比べ 12.76m³、9.8%の減少 
	▶雨水貯留槽購入費補助件数を平成27年度(2015年度)に延べ380件	雨水貯留槽購入費補助件数は、 累計298件
	▶浄化槽雨水貯留施設設置費補助件数を平成27年度(2015年度)に延べ140件	浄化槽雨水貯留施設設置費補助件数は、 累計129件
⑭エネルギーの有効利用 家庭や事業所における省エネルギーや新エネルギーの導入を促進します。	▶太陽光発電システム設置件数を平成27年度(2015年度)までに約4,000件	太陽光発電システム設置件数は、 累計967件
	▶環境マネジメントシステム等を平成27年度(2015年度)に270事業所導入	環境マネジメントシステム導入事業所数は、 延べ98事業所 。(ISO14001取得事業所含む)
⑮環境教育の推進 環境保全の重要性を認識し、自ら意欲的に行動し、活動の場を広げていけるよう、体系的な環境教育を推進します。	▶環境教育推進計画の運用	平成19年12月に「鎌倉市環境教育推進計画」を策定 、環境教育アドバイザー制度を設け学校等へ環境に関する専門的な知識を有するアドバイザーを派遣するなど環境に関する講習会を実施し環境教育の推進を図っている。
	▶環境教育アドバイザー等派遣人数を平成27年度までに延べ1,700人	環境教育アドバイザー等派遣人数は、 延べ942人

図・表索引

第1章 地球環境の保全

グラフ1-1 鎌倉市の温室効果ガス排出量	4
グラフ1-2 わが国の温室効果ガス排出量の推移	4
グラフ1-3 神奈川県 of 温室効果ガス排出量の推移	5
グラフ1-4 神奈川県 of 部門別二酸化炭素排出量の推移	5
グラフ1-5 鎌倉市の部門別二酸化炭素排出量の推移	6
表1-1 自動車登録台数	7
表1-2 かまくらエコアクション21参加登録事業所の状況	8
表1-3 平成23度の取組と前年度実績比	10
表1-4 エコショップ認定事業所の状況	10
表1-5 市役所における平成23年度グリーン購入調達方針の分野別調達率	12
表1-6 特定フロン処理量の推移	13
グラフ1-6 pH測定結果	13

第2章 人の健康の保護と生活環境の保全

表2-1 指定事業所数等年度末現在数	16
表2-2 一般環境大気測定局における環境基準の適合状況	16
表2-3 一般大気 of 環境基準 of 適合状況	16
表2-4 ダイオキシン類濃度調査結果	16
表2-5 排出ガス of ダイオキシン類測定結果	17
表2-6 汚泥焼却ガス of ダイオキシン類測定結果	17
表2-7 注意報発令日数及び被害者数の推移	18
表2-8 自動車排出ガス測定局における環境基準 of 適合状況	18
表2-9 自動車排出ガス測定市内主要道路7地点における環境基準 of 適合状況 (二酸化窒素)	19
表2-10 自動車排出ガス測定市内主要道路7地点における環境基準 of 適合状況 (浮遊粒子状物質)	19
表2-11 パーク&ライド等の利用状況	19
表2-12 公用車の低公害車導入状況	22
表2-13 BOD(生物化学的酸素要求量)環境基準適合状況	24
表2-14 水洗化普及・接続状況(平成23年度末)	24
表2-15 市街化区域と市街化調整区域 of 下水道整備状況(平成23年度末)	24
表2-16 河川(水質) of ダイオキシン類測定結果	25
表2-17 河川(底質) of ダイオキシン類測定結果	25
表2-18 最終処分場地下水等 of ダイオキシン類測定結果	25
表2-19 山崎浄化センター放流水 of ダイオキシン類測定結果	26
表2-20 地盤沈下調査水準測量結果	26

表2-21 道路交通騒音調査結果	31
表2-22 環境騒音の環境基準適合状況	32
写真2-1 啓発用の看板(七里ガ浜国道134号沿い)	33

第3章 歴史的文化的環境の確保

表3-1 歴史的風土特別保存地区の指定面積及び取得状況	34
表3-2 指定文化財件数一覧	35
表3-3 国指定史跡の公有地化の状況	36
表3-4 国庫補助に基づく緊急発掘調査	36
表3-5 平成23年度文化財修理補助事業	37

第4章 良好な都市環境の創造

表4-1 緑地保全基金の状況	40
表4-2 都市公園等の整備状況	41
写真4-1 鎌倉広町緑地	42
写真4-2 (仮称)山崎・台峯緑地	42
表4-3 まち並みのみどりの奨励事業	43
表4-4 クリーンアップ実施状況	44
表4-5 河川清掃実績	45
表4-6 鎌倉市内の海岸でのごみの処理状況	45
表4-7 維持管理協力団体	45
表4-8 景観形成地区の指定状況	47
表4-9 景観法に基づく届出状況	47
表4-10 景観重要建築物等一覧	48
表4-11 景観重要建造物一覧	49
表4-12 かまくら景観百選	50
表4-13 観光ごみの収集量	53
表4-14 タイヤ・鉄くずなどの不法投棄処理状況と費用	53
表4-15 家電4品不法投棄物処理状況と費用	53
表4-16 不法投棄物処理件数	53
写真4-3 市内の落書き状況	54
表4-17 奨励金交付状況	54
表4-18 あき地の調査状況	54
表4-19 愛護会による清掃実績	55
表4-20 アダプト・プログラム実施団体一覧	55
写真4-4 アダプト・プログラム実施団体活動の様子	55

第5章 健全な生態系の保持、人と自然とのふれあいの確保

表5-1 鎌倉市自然環境調査結果概要	56
図5-1 鎌倉市自然環境調査対象地区位置図	61
表5-2 傷病野生鳥獣保護通報実績	62
表5-3 傷病野生鳥獣保護処理実績	62

写真5-1 鎌倉メダカ	63
写真5-2 鎌倉市立山崎小学校	63
写真5-3 鎌倉市役所	63
表5-4 市内におけるエコアップの活動事例	64
写真5-4 市民による農業体験	65
表5-5 鎌倉中央公園の教室・講座の開催	66
写真5-5 鎌倉広町緑地	66
表5-6 市民農園の区画数及び面積	67
表5-7 ハイキングコース	67
表5-8 自然の中で行うスポーツ・観察会等	67
表5-9 平成23年度緑の学校プログラム	68
表5-10 ジュニアレンジャー平成23年度活動プログラム	69
写真5-6 森の手入れの体験作業をするジュニアレンジャー	69
表5-11 シニアレンジャー平成23年度活動プログラム	70

第6章 循環型社会の構築

表6-1 鎌倉市のごみの発生量、焼却量及び減量化・資源化量の推移	72
表6-2 生ごみ処理機の助成件数及び台数	72
表6-3 市施設における生ごみ処理機設置状況	73
表6-4 啓発活動の実施状況	74
表6-5 資源物収集量の推移	75
表6-6 植木剪定材受入量等の推移	75
グラフ6-1 鎌倉市役所における紙類回収量の推移	76
表6-7 不用品登録制度利用状況	76
表6-8 図書館不要本の無料配布冊数	77
表6-9 リサイクルマーケット等の開催状況	77
グラフ6-2 上水使用量の推移	78
表6-10 浄化槽雨水貯留施設補助金交付件数	79
表6-11 雨水浸透施設補助金交付件数	79
表6-12 雨水貯留槽補助金交付件数	79
表6-13 市施設の雨水利用状況	80
グラフ6-3 七里ガ浜浄化センター処理水の再利用	80
グラフ6-4 山崎浄化センター処理水の再利用	81
グラフ6-5 太陽光発電システム設置件数の推移	82
表6-14 本庁舎における電気・ガス・水道使用量(1㎡当たり)	83
グラフ6-6 用途別年間電力消費量の推移	84
グラフ6-7 用途別年間ガス消費量の推移	85
表6-15 住宅用太陽光発電システム設置費補助件数	85
表6-16 廃棄物エネルギー導入施設	86
表6-17 再生可能エネルギー等(太陽光発電)導入施設	86
表6-18 再生可能エネルギー等(太陽熱)導入施設	86

第7章 環境教育の推進

表7-1 子ども酸性雨調査参加者数とpH平均値	88
写真7-1 酸性雨パンフレット	88
表7-2 公立小・中学校における環境教育の取組	90
表7-3 環境教育の人材派遣実績	99
表7-4 環境出前講座実績	99
表7-5 環境出前講座 平成23年度の内訳	99
表7-6 エコアクション事務局により実施した環境保全に関する研修	100
表7-7 環境保全関連講座開催状況	101
表7-8 移動教室・消費生活講座の概要(環境問題関連)	101
表7-9 こどもエコクラブ登録数	102
表7-10 環境保全団体に対する支援の実施状況	102

第8章 鎌倉市環境基本計画の推進体制

写真8-1 夏休み子ども向け自然観察会	122
写真8-2 LEDを使った工作教室	122

資料

表8-1 月別平均気温	123
表8-2 気象状況	123
表8-3 人口	124
表8-4 産業	124
表8-5 市街化区域および市街化調整区域	124
表8-6 用途地域別面積	125
表8-7 一般会計決算額(歳入)	125
表8-8 一般会計決算額(歳出)	125
表8-9 環境対策に係る主な決算概要(平成23年度)	126
表8-10 かまくら環境白書作成に携わる関係各課の組織図(平成24年4月1日現在)	127

